



平成27年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年10月9日

上場会社名 エコートレーディング株式会社
 コード番号 7427 URL <http://www.echotd.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成26年10月14日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 高橋 一彦
 (氏名) 堀 和仁
 配当支払開始予定日

TEL 0798(41)8317
 平成26年11月10日

上場取引所 東

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年2月期第2四半期の連結業績(平成26年3月1日～平成26年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年2月期第2四半期	37,570	0.2	47	△53.8	60	△44.7	6	△90.4
26年2月期第2四半期	37,494	△1.2	103	△61.4	109	△68.4	68	△66.2

(注)包括利益 27年2月期第2四半期 26百万円 (△65.9%) 26年2月期第2四半期 77百万円 (△59.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年2月期第2四半期	1.09	—
26年2月期第2四半期	11.34	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年2月期第2四半期	27,397		8,661			31.6
26年2月期	25,217		8,699			34.5

(参考)自己資本 27年2月期第2四半期 8,661百万円 26年2月期 8,695百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年2月期	—	10.00	—	10.00	20.00
27年2月期	—	10.00	—	—	—
27年2月期(予想)	—	—	—	10.00	20.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年 2月期の連結業績予想(平成26年 3月 1日～平成27年 2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	75,300	0.0	190	△2.1	200	△2.0	80	—	13.25

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年2月期2Q	6,036,546 株	26年2月期	6,036,546 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

27年2月期2Q	644 株	26年2月期	644 株
----------	-------	--------	-------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年2月期2Q	6,035,902 株	26年2月期2Q	6,035,902 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想には、本資料の発表日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。

経済状況・市況環境等にかかわるリスクや不確定要因により実際の業績が記載の予想数値と異なる可能性があります。

なお、上記業績予想に関する事項は、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や日本銀行による金融緩和の効果により景気は回復基調にあります。しかしながら、4月1日の消費税率の引き上げに伴う駆け込み需要とその反動や海外景気の下振れリスクなどにより、個人消費を取り巻く環境及び消費全般の基調は引き続き楽観視できず、先行きが不透明な状況で推移いたしました。

ペット業界におきましては、個人消費に持ち直しの動きが見られたものの、依然として厳しい経営環境が続いております。

このような状況の下、当社グループでは本年5月3日から4日開催の『みんな大好き！！ペット王国（京セラドーム開催10周年）』と同時に、新しい取組として同じく5月2日から4日にかけて「未来につながるペットカテゴリー価値訴求へのメッセージ」をコンセプトとした『ニューマーケット創造提案会』を開催し、《Change 変化》《Challenge 挑戦》《Chance 可能性》をキーワードとした価格志向脱却のMD戦略提案を行ないました。

ペットフード・ペット用品の卸売事業につきましては、ペットの専門性を高め、商品の安定供給から売場作りの企画提案までのトータルサポートを行ない、顧客満足度を高めてまいりました。また、物流面では引き続き物流改革プロジェクトチームによる関東エリア・関西エリア・九州エリアの物流業務の効率化を進めております。

一方、ペッツバリュー株式会社では、店舗開発事業の管理店舗数が200店舗になり、また、平成24年8月に立ち上げました総合ペットプランニング部を平成26年3月より当社から移管し、店舗開発と商品開発の専門化を図り、高付加価値商品開発とサービスの提供を推進いたしました。

また、株式会社ケイ・スタッフでは、得意先の売り場活性化に繋がる営業企画提案を引き続き実施しており、卸売事業の販売促進を支援することによる売上拡大を図ってまいりました。

また、ココロ株式会社においては、インターネット通販事業の拡大を推進いたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の当社グループの売上高は、375億7千万円（前年同期比0.2%増）となりました。また、低価格志向の影響によるペットフード及びペット用品類の販売単価の下落の進行や、一時的なコスト（関東エリアの物流再編に伴う物流コスト及びニューマーケット創造提案会の開催に伴う販売費）の上昇があり、営業利益は4千7百万円（前年同期比53.8%減）となりました。

経常利益は6千万円（前年同期比44.7%減）となり、また、四半期純利益は6百万円（前年同期比90.4%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ21億8千万円増加し、273億9千7百万円となりました。これは、主に受取手形及び売掛金が16億3千6百万円、商品が4億2千1百万円、未収入金が1億6千5百万円それぞれ増加したことによるものであります。

受取手形及び売掛金が増加した要因は、主に当第2四半期連結会計期間末が金融機関の休日であることに伴い、当該日に銀行振込で回収予定の売掛金の回収が、一部翌月に繰延べられたことによるものであります。

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ22億1千7百万円増加し、187億3千6百万円となりました。これは、主に短期借入金が増加したものの、支払手形及び買掛金が40億3百万円、未払金が7億7千8百万円それぞれ増加したことによるものであります。

支払手形及び買掛金が増加した要因は、主に当第2四半期連結会計期間末が金融機関の休日であることに伴い、当該日に銀行振込で支払予定の買掛金の支払が、一部翌月に繰延べられたことによるものであります。

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ3千7百万円減少し、86億6千1百万円となりました。これは、主にその他有価証券評価差額金が2千万円増加したものの、利益剰余金が5千3百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年2月期通期の連結業績予想につきましては、平成26年4月10日付「平成26年2月期 決算短信」において公表しました業績予想値を修正しております。詳細につきましては、平成26年10月7日付公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

(法人税率の変更等による影響)

「所得税法等の一部を改正する法律」（平成26年法律第10号）が平成26年3月31日に公布され、平成26年4月1日以後に開始する連結会計年度から復興特別法人税が課せられないことになりました。

これに伴い、繰延税金資産及び繰延税金負債の計算に使用する法定実効税率は、平成27年3月1日に開始する連結会計年度に解消が見込まれる一時差異については、従来38.0%となっておりましたが35.6%に変更されます。

なお、この変更に伴う影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,304,700	3,376,255
受取手形及び売掛金	13,169,943	14,806,825
商品	3,829,959	4,251,462
貯蔵品	21,311	17,334
未収入金	1,865,364	2,030,761
その他	166,407	220,703
貸倒引当金	△420	△512
流動資産合計	22,357,266	24,702,830
固定資産		
有形固定資産	1,513,163	1,365,546
無形固定資産		
のれん	287,172	259,259
その他	152,568	157,304
無形固定資産合計	439,741	416,563
投資その他の資産	907,369	913,017
固定資産合計	2,860,273	2,695,128
資産合計	25,217,540	27,397,959
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,999,014	13,002,438
短期借入金	4,800,000	2,100,000
未払金	1,857,701	2,636,436
未払法人税等	46,256	57,451
賞与引当金	40,661	41,744
その他	265,661	389,223
流動負債合計	16,009,294	18,227,294
固定負債		
その他	508,870	508,715
固定負債合計	508,870	508,715
負債合計	16,518,164	18,736,009
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,988,097	1,988,097
資本剰余金	1,931,285	1,931,285
利益剰余金	4,738,537	4,684,762
自己株式	△590	△590
株主資本合計	8,657,331	8,603,555
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	30,816	51,465
為替換算調整勘定	7,627	6,929
その他の包括利益累計額合計	38,443	58,394
新株予約権	3,600	—
純資産合計	8,699,375	8,661,950
負債純資産合計	25,217,540	27,397,959

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)
売上高	37,494,667	37,570,850
売上原価	32,658,501	32,762,642
売上総利益	4,836,166	4,808,207
販売費及び一般管理費	4,732,515	4,760,283
営業利益	103,650	47,924
営業外収益		
受取利息	3,604	3,022
受取配当金	4,160	4,223
業務受託料	5,777	10,265
その他	29,365	33,160
営業外収益合計	42,908	50,671
営業外費用		
支払利息	17,347	16,415
持分法による投資損失	11,699	12,306
その他	8,195	9,448
営業外費用合計	37,242	38,170
経常利益	109,316	60,424
特別利益		
固定資産売却益	—	1,305
投資有価証券売却益	10,963	—
新株予約権戻入益	—	3,600
保険解約返戻金	20,207	—
その他	50	—
特別利益合計	31,221	4,905
特別損失		
固定資産除却損	7	8,204
特別損失合計	7	8,204
税金等調整前四半期純利益	140,530	57,125
法人税、住民税及び事業税	69,199	52,893
法人税等調整額	2,859	△2,351
法人税等合計	72,059	50,541
少数株主損益調整前四半期純利益	68,471	6,583
四半期純利益	68,471	6,583

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年3月1日 至 平成25年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年3月1日 至 平成26年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	68,471	6,583
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5,175	20,648
持分法適用会社に対する持分相当額	4,070	△698
その他の包括利益合計	9,246	19,950
四半期包括利益	77,718	26,534
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	77,718	26,534

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	140,530	57,125
減価償却費	63,562	67,868
のれん償却額	40,666	27,913
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△3,950	△7
賞与引当金の増減額(△は減少)	△18,100	1,083
受取利息及び受取配当金	△7,765	△7,245
支払利息	17,347	16,415
持分法による投資損益(△は益)	11,699	12,306
固定資産売却損益(△は益)	—	△1,305
投資有価証券売却損益(△は益)	△10,963	—
新株予約権戻入益	—	△3,600
保険解約返戻金	△20,207	—
固定資産除却損	7	8,204
売上債権の増減額(△は増加)	△1,008,979	△1,636,882
信託受益権の増減額(△は増加)	1,805	△8,644
たな卸資産の増減額(△は増加)	△304,214	△417,526
未収入金の増減額(△は増加)	△169,114	△282,751
仕入債務の増減額(△は減少)	3,817,284	4,025,744
未払金の増減額(△は減少)	624,034	782,071
その他	94,378	120,032
小計	3,268,021	2,760,802
利息及び配当金の受取額	6,519	6,071
利息の支払額	△15,836	△15,125
法人税等の支払額	△232,075	△36,251
法人税等の還付額	4,258	79,010
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,030,888	2,794,507
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△18,971	△2,680
有形固定資産の売却による収入	—	128,000
無形固定資産の取得による支出	△16,499	△43,445
投資有価証券の取得による支出	△6,155	△6,154
投資有価証券の売却による収入	35,000	—
関係会社出資金の払込による支出	—	△25,510
長期貸付金の回収による収入	2,124	2,124
保険積立金の積立による支出	△3,173	△2,800
保険積立金の解約による収入	28,413	—
長期前払費用の取得による支出	△1,514	△21,684
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による 支出	△6,184	—
その他	831	19,903
投資活動によるキャッシュ・フロー	13,870	47,753
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△2,200,000	△2,700,000
配当金の支払額	△96,903	△60,444
その他	△6,678	△10,261
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,303,582	△2,770,706
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	741,176	71,554
現金及び現金同等物の期首残高	3,220,329	3,304,700
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,961,505	3,376,255

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。